

こども新聞  
週刊がほピョンプレス

きょうのテーマ



はやぶかアドバイザーの

学ぼう防災

⑧

皆さんは芋煮会をしたことはありますか？  
芋煮会とは宮城県や山形県など東北各地で行われる季節の行事で、秋にグループで河川敷などに集まり、野菜や肉を使った鍋料理を作って食べる行事です。かまどを使って火をおこし、持ち寄った食材で料理を作ると心も体も温まるし、おなかがいっぱいになりますよ。私も大好き

です。  
10、11月は1年で地域や町内会の防災訓練が最も盛んな時期で、各地で行われています。その中に炊き出し訓練があります。地震などの災害が発生して電気やガス、水道などライフラインが使えなくなったり、協力しながら温かい食事を出せるようにするための訓練です。

芋煮会や炊き出し訓練

協力し合い温かい食事を

地域の防災倉庫などには料理に必要なかまどや燃料、大きな鍋や調理道具が備蓄されていて、実際にお湯を沸かしたり料理を作ったりします。よく作られるのが豚汁などの鍋料理。芋煮会と同じように、近所の人たちが食材を持ち寄って調理し、温かい食事を取りながら災害が起きても乗り越えられるように備えています。

防災倉庫の中にはアルファ米というお米も備蓄されています。火や電気ですべてなくなってもお湯や水を入れるだけでふくらましたご飯を作ることができます。東日本大震災のときにも各地の避難所でアルファ米を使ったおにぎりの炊き出しが行われ、多くの人たちの避難生活を支えました。

皆さんの家族や周りの人たちが東日本大震災のときに何を食べていたか聞いてみてください。豪華な食事ではなかったけれど「とてもおいしかった」ことを覚えている人が多いと思います。  
芋煮会や炊き出し訓練の機会があればぜひ参加してみてください。災害時でもお互いに助け合う大切さを知るのももちろん、限られた食材で食事を準備する力が身につきますよ。

(仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人)



サバイバルカ  
アップ!



今週の注目ニュース

◇27日(月) ノーベル賞制定記念日  
スウェーデンの科学者ノーベルが1895年、ダイナマイト開発で得た財産で基金を設ける遺言状に署名しました。ノーベル賞は毎年、物理学、化学、医学、文学、平和などの分野で貢献した人に贈られます。

きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 かほく防災記者リポート

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ